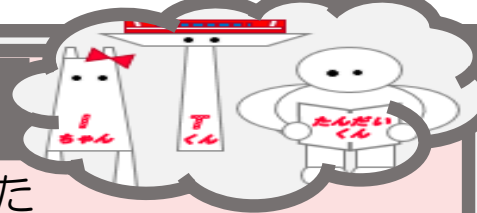




1 受注・販売を体系的に学習

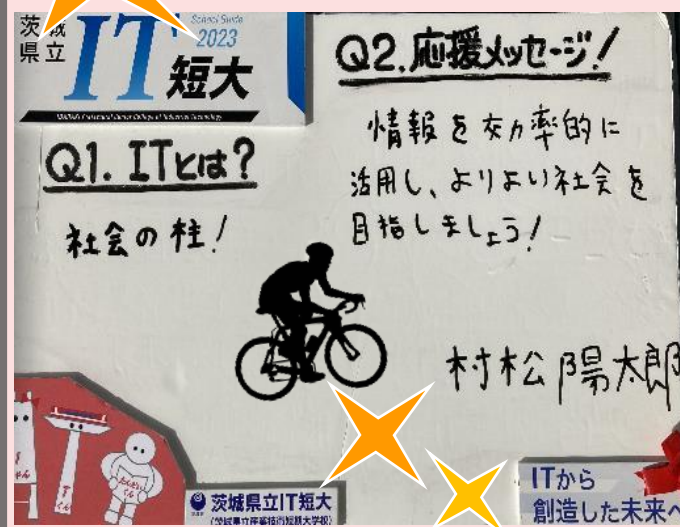
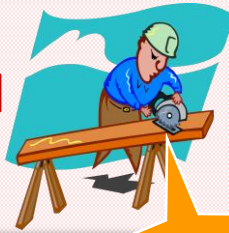


生産管理



10月からスタートした
生産管理担当の村松陽太郎先生から
①コースの特色や魅力 ②学生への期待
③先生の好きな言葉 をお聞きしました。

- ① このコースの特色は、
**受注から販売までの流れを体系的に
学ぶことができる点**があります。また、
**対象とする課題のスケールの大きい
ことも魅力**です。
- ② 「**自らが、課題を的確に認識し、
自ら考え、行動できる人材になれる**」
ことを期待しています。
- ③ 好きな言葉は『**Just Do It!**』
趣味は『**サイクリング**』、
『**DIY**』です。



3 新聞を読む学生

本校では、「専門力」に加えて「社会人基礎力」の向上のために、新聞スクラップを実施しています。今回は、「生産管理」の1年生の要約、感想をご紹介します。

＜記事＞ 日本経済新聞(2022年9月28日)
「再生エネ・原発総力戦で」

◇要約

●今川葉菜さん(石岡商高卒)
世界のエネルギー問題の中でも、原発は重要な論点である。脱炭素を掲げる政策の推進や戦争の影響もあり、日本では原発再稼働が訴えられているが、安全性は確保できない。エネルギー自給源の確保が重要となっている。

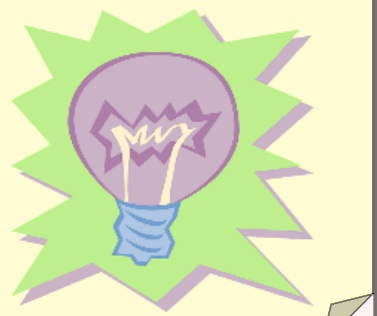
●金澤羽美さん(石岡第一高卒)
ロシアのウクライナ侵攻で世界のエネルギー情勢は一変し、電力の安定供給が危ぶまれ、海外の化石燃料にエネルギー源の8割超を依存する日本は、脱炭素を進めつつエネルギーの安全保障を確立しなければいけない。

◇感想

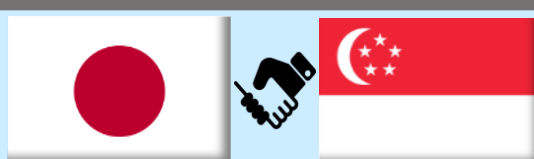
●川島優哉さん(東海高卒)
日本が海外のエネルギー源に頼っていることは、今までにも何度か問題となっていた。様々な工夫や運動などの取り組みが行われている。国がもっと問題解決に向けて取り組んでいかなければ解決しないだろうと思った。

●柏海成さん(笠間高卒)
ロシアの侵攻が続く中で、日本でもエネルギーの高騰はあまり耳にしない。しかし、侵攻の影響がないわけではない。食料品などの値段が上昇している。日本も何らかの対策をしなければならないと思う。

●曾根叶多さん(太田第一高卒)
私は、原子力発電の議論を行うべきだと思う。何故なら、ロシアのウクライナ侵攻の影響で化石燃料の価格が高騰し、火力発電だけでは難しくなるからである。原子力発電の扱い方に関してしっかり議論して欲しい。



2 文化で楽しく国際交流 ②



「シンガポールとのグローバルプログラム」で、2番目に発表した今川葉菜さん(石岡商高卒)は「とても友好的で有意義な情報交換が出来ました」と話していました。

指導されたドラコス先生は「今川さんは、勉強熱心で上手く話せてました」と笑顔で答えていました。

参加した学生からは「シンガポールについて知ることができたし、逆に日本の魅力も知ることが出来た」と話していました。

榮智徳主査兼学科主任は「本校のグローバル化の第一歩であり、将来的には留学や共同プロジェクト開発に結び付けたい」と期待を膨らませていました。

